

# 新たな特産品『大雄ホップ茶』の商品化支援

## 田嶋アドバイザーによる支援

特産品の商品化について相談を受けたのをきっかけに支援を開始

### 特許権取得に向けたサポート

- ➡ 商品販売における特許出願の効果の説明
- ➡ 特許電子図書館(IPDL)を利用した検索手法習得の支援
- ➡ 無料の弁理士相談会を活用して明細書内容を検討
- ➡ 自社による特許出願を支援

## 株式会社大雄振興公社

ビールを造る過程で、廃棄されるホップの葉に着目  
生活習慣病予防に効果的なポリフェノールや、GABAが多く含まれるとの結果を得た

日本一のホップ生産量を誇る横手市大雄地区の新たな特産品として  
「ホップ茶」を開発

独自の製法を特許で保護し、消費者にオリジナル健康茶であることを強くアピールしたい！

自社で特許出願したい！

## 特許情報活用による成果

- ◆ 特許出願 1件  
特願2009 - 255468号

- 知的財産権に対する社内意識が大幅に向上！
- 特許電子図書館(IPDL)を利用し、特許情報を積極的に活用！

## この支援によって開発・販売された商品

### 商品名「大雄ホップ茶」

大雄地区のホップは生産量日本一を誇る特産品です。このホップを原料に添加物一切なしの独自製法でおいしい健康茶に仕上げました。ポリフェノール、GABA、ミネラル、食物繊維などを多く含んだ身体に優しいお茶です。美容、健康、生活習慣が気になる方には是非おすすめしたい商品です。

## 支援先企業の概要

会社名 株式会社大雄振興公社 代表取締役 鈴木 廣道  
住所 秋田県横手市大雄 設立 1992年 資本金 2,000万円  
ホームページ <http://ww1.yutorion.com/>

## 田嶋 正夫(秋田県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

4年前に鈴木社長が考案した岩盤浴ベットを特許出願した際は、弁理士による出願をアドバイスさせて頂きましたが、次の脚受け具については自社出願に挑戦したいとのことで、実用新案登録出願のサポートをさせて頂きました。

今回、横手市大雄地区の特産物であるホップを原料とした新たな食品をほぼ完成させた時点で、知財活用の相談があり、再び支援をさせて頂くことになりました。お茶以外にもホップを原料とする食品を開発されたとのことで、広い範囲をカバーできる特許にするため、社長自らが、無料弁理士相談をフルに活用しながら、出願書類を作成しました。鈴木社長の最後までやり遂げる態度には本当に感服しました。

今後、ゆとりおん大雄(愛称:源泉かけ流しと岩盤浴の宿)の名物土産になることを期待しています。



平成22年1月現在

